



こうかがく 光化学スモッグは、なぜ夏に起こりやすいの

としんぶ 都心部で起こる

とうきょう おおさか などのとしんぶで、かぜがないあつひに、そとあるめ、目やのどがいた
 東京や大阪などの都心部で、風がない晴れた暑い日に、外を歩いていると、目やのどが痛
 くなったり、はき気がしたりする現象が起こっています。この現象を光化学スモッグとい
 っています。

こうかがく お ちほうじちたい
 光化学スモッグが起こると、地方自治体では、そのスモッグのこさによって、「光化学ス
 ムッグ注意報」や「光化学スモッグ警報」を出しています。その地域で、なるべく自動車を
 つか ちゅういほう こうかがく けいほう だ ちいき じどうしゃ
 使わないように呼びかけたり、学校では、子どもたちが、外で活動しないように注意してい
 ます。

ひざ つよ 日差しが強く、風のない日に起こりやすいから

こうじょう くま はいき そさんかぶつ たんかすいそ
 工場のけむりや、車の排気ガスなどから、ちっ素酸化物や炭化水素などが出ています。
 これがかうきちゅうま ひろ あいだ たいよう しがいせん ひと からだ がい
 これが空気中に混ざって広がっていく間に、太陽からの紫外線にあたって、人の体に害を
 あたえる、こうかがく ぶっしつ か
 あたえる、光化学オキシダントという物質に変わります。この物質が、めやのどをいた
 け お いきぐる
 はき気を起こさせ、息苦しくさせたりしています。

こうかがく お ひざ つよ かぜ
 光化学スモッグが起こりやすいのは、日差しが強く、風がないときです。風がないと、け
 むりやはいき すいへい ほうこう ひろ たいよう しがいせん こうかがく
 むりや排気ガスなどが、水平の方向に広がりにくくなり、太陽からの紫外線によって、光化学
 オキシダントがはっせい
 発生しやすくなります。

なつ こうかがく お きせつ くら ひざ つよ しがいせん りょう
 夏に光化学スモッグが起こりやすいのは、ほかの季節に比べて日差しが強く、紫外線の量
 があお
 が多くなるために、また、かぜ ひ おお
 風のない日も多いためです。（監修・村山 貢司）

